

平成 29 年 10 月 南大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 10 月 27 日（金） 14 時 40 分から 15 時 20 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 南大泉図書館指定管理者（日本コンベンションサービス株式会社）（以下「南大」） 南大泉図書館長、同館業務従事者（4）、本社スタッフ（1）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）台風の影響について →（南大）閉館時は止水板を上げて対応した。短時間で大雨がある時は、トイレに下水が 上がってきて、一時的にトイレの使用を制限することがあった。</p> <p>（光）血圧計の故障について →（南大）新しい血圧計を購入する予定。</p> <p>（光）7 月から始めた、授乳室利用の際の子供用椅子の貸し出しについて →（南大）小さいお子さん連れの方に対応するようにした。授乳室が狭く常時椅子を置け ないため、図書館スタッフから声を掛けるようにしている。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>（光）8 月に行った利用者アンケートの掲示について →（南大）28 年度に実施した利用者アンケートの自由意見に対し、意見の多いもの等、い くつかピックアップし回答を掲示した。今回は事業に関する回答を掲示したが、内容は定 期的な更新を予定している。</p> <p>（光）8 月開催の「大人のお話会 怪談ナイト」について →（南大）大人を対象としたお話会は行ったことがあるが、怪談を内容とするものは初め て。本を読むのではなく、伝統話芸の講談という形で提供し、関連資料の展示も行いその 後の貸し出しにつながった。今回は難しい表現もあるため、参加対象を大人に限定したが、 子供からの問い合わせも多くあったため、今後は子供向けの事業としても検討していく。</p> <p>（光）9 月開催の「英語を楽しむ旅会話 カナダ編」について →（南大）旅行先で遭遇する場面の英会話を学びながら、その学習に役立つ本を紹介し、 海外旅行先の地理、文化、観光等についてブックトークを行った。英会話教室にならない ように、英会話とブックトークを交互に行いバランスを意識した。講師は英語が堪能な職 員が行った。</p> <p>③ 児童サービス事業について</p> <p>（光）夏休みの学校支援の状況は。 →（南大）9 校中、4 校は学校図書館での支援日があった。支援員は、7 月に開催した、 児童に図書館の仕事を体験してもらう「一日図書館員」など、図書館事業にも従事してい</p>

る。新学期の支援については、読書旬間や読書月間に併せてパネルシアター、よみきかせ、探検ラリー等の依頼があったので対応している。

(光) 事業の参加者数が定員を上回る事が多いようだが、何か工夫している点は。

→ (南大) 児童・生徒向け事業は、支援校に必ずポスターやチラシを掲示している。また、出張おはなし会の際に広報する等、目に留まるように努めている。

(光) 7月開催の「昔あそびまつり」について

→ (南大) 青少年館と協力した事業で、紙風船、紙相撲、あやとりなど、昔懐かしい遊びを紹介し体験してもらった。家庭でも続けられるよう関連資料も展示した。

(光) 7月開催の「昔あそびまつり 第二部」について

→ (南大) 「昔あそびまつり」終了後、放課後等デイサービスの児童・生徒を招待した。以前から行事にお誘いをしていたが、迷惑が掛かってはとのことで参加が難しかった。そこで、今回は第一部のセットをそのまま残し、会場を貸し切り状態とすることで来館を実現した。事前に下見をしてもらい危険性がないか等は確認している。大変喜んでいただいたが、館としても、障害のある方へのサービスについて多くのことを学ぶ機会となった。

(光) 7月開催の「出張おはなし会：おはなしあいあいあい」について

→ (南大) 民設子育てのひろば「あいあいあい南大泉」を訪問して行ったおはなし会。当該施設への出張おはなし会は初めてとなる。

(光) 7月、8月開催の「朝読書」について

→ (南大) 昨年に行っている事業で、毎朝9時10分から9時30分までの20分間を使って子供達に読書してもらうもの。読書する本は漫画以外なら自由としている。参加者にはスタンプカードを配付し、スタンプが貯まったら消しゴムをプレゼントした。昨年度より参加者が増え、延べ665名が参加。毎日来館する児童もいた。

(光) 7月、8月開催の「夏休み学習支援」について

→ (南大) 読書感想文にお薦めの本の紹介、調べ学習、自由研究等に役立つ本を児童コーナーの窓に設けたウォールポケットに入れ展示した。また、工作や実験の参考になるよう図書館スタッフが事前に展示資料を見て実際に作った作品を展示した。昨年度から始めた事業だが、今年は展示数を増やしている。また、学校連絡協議会からの要望で、子供達に伝わるよう、今年度は早めに支援校に周知を行った。

(光) 7月、8月実施の「名作一頁目」について

→ (南大) 著名な文学作品からその書き出し部分を提示し、書名を推理するクイズ形式の冊子を作成し配布した。青少年向けに本を紹介する際に、ただブックリストを配布するだけでは、興味を持ってくれないため、このような仕掛けを考えた。作品の紹介とともにクイズも楽しんでもらい本を読むきっかけになればと実施したが、よく手に取られ、160部を配布した。

(光) 8月開催の「化石のレプリカをつくろう」について

→ (南大) 元中学校教師の方からの申し出により、初めて実施したもの。石膏を使いアンモナイトと三葉虫の化石のレプリカを作成し、乾かしている間に化石に関する講義やブックトークを行った。ただ作るだけでなく、化石がどうやって出来るのか、本を使いながら解説を行ったことで、子供達の理解も深まったと思う。